

創刊号
2004 . 4 . 23

編

amu

自然・人・地域文化を
編む

【企画・発行】
『白神の夢』と文化を育む会
【後援】
八森町公民館

【あむ 編む】
1 糸、竹、針金、髪などを互い違いに組み合わせ、形の有る物を作る『セーターを一』。
2 多くの材料を集めて本を作る。編集する。『文章を一』。
3 関係各方面の事情を調べて、計画を立てる。『旅行日程を一』。

創刊にあたって

ばらばらのピースを一つひとつ当てはめて一枚の絵を完成させるジグソーパズルにも似て記録映画作品は撮影中にはなかなかその全貌を現してくれません。誤解を恐れずに言うならば、撮影とはピースを拾い集めている過程に過ぎないからです。

遂に姿を現した『白神の夢』はしかし、実に汪洋たるスケールで描かれた巨大な地上絵の如き作品でした。200分という上映時間については意見の分かれるところですが、小池監督の呼吸とまなざしの深さが反映された結果であると解釈しています。一度観ただけでは各場面の間に潜む意味や全体との関係性がよく判りませんが、二度三度と観るうちに、行間からその相貌や意図するものが徐々に立ち現れてくる。そんな作品であるとも言えます。さて

編むという言葉にはいくつか意味がありますが、私は「見無指向且無目的

で個々に存する様々な物や事象を、独自の視点から捉え直して新たな秩序の下に繋ぎ合わせ、相互に関連性を持たせることだと自分なりに定義しています。そつという意味で、『白神の夢』制作チームはまさしく白神の自然とその麓で暮らす人々、そしてそこにたゆたう時間と古い記憶を編むという大仕事を為し遂げたと言ってもいいと思います。これからは私自身も編み手の一人となり、地域に活力を取り戻すために微力ながら貢献できればと願うものです。幸いにも志を同じくする仲間と共に、こうして本会を発足させ、編amuを創刊することが出来ました。

小さなメディアではありませんが、『白神の夢』情報をリアルタイムに伝えると同時に、『自然・人・地域文化を編む』をポリシーとして独自の視点でニュースを探し、論考を加え、問題提起する元気な地域ジャーナリズムを標榜する所存です。皆様のお役に立てるよう、会員一同鋭意努力して参りますので、何卒末永くお付き合いますようお願い申し上げます。

奈良 沙冬子
設立発起人

『白神の夢』と文化を育む会
設立趣旨

記録映画『白神の夢』森と海に生きる『は』は昨秋の公開以来、あまたの賞賛や激励の声を頂き大きな反響を呼んでおります。世界自然遺産白神山地に新たな意味を付与したこの作品と、主な撮影地となった八森町や周辺部の関心が更に高まり、各方面からの問い合わせや取材申し入れ等が増えることも予想されます。

そこでこうした動きに対応し、自主的に情報発信する地元支援組織が必要ではないかと考えました。そしてその組織を映画の支援活動のみならず、地域社会や身近な自然環境をより豊かで魅力的にするために、様々な文化活動を展開する主体的組織にしたいと思いました。このよつな組織の存在と活動は、映画作りが地域住民に文化をもたらしたという確かな証であり、結果として上映を推進する力にもなり得るのではないかと考えます。以上の考えに基づき本会を設立致しました。

去る2月21、22日(土、日)東京の千代田区公会堂で『白神の夢』森と海に生きる『白神の夢』の上映会が行われた。首都圏での一般公開(有料)は今回が初めてである。決して派手な宣伝をしたわけではないが、蓋を開けてみると、今までこんなに満席になったことはないとい千代田区長が驚くほどの大盛況となり、2日間計4回の上映に約2000人も観客が詰め掛けた。前日20日毎日新聞「ひと欄」に掲載された小池監督のインタビュー記事の効果がかかなり大きかったことは、一般客が予想以上に多く来場したことから判る。だが何と云っても主催五者(東京八森会、千代田区、千代田区教育委員会、麹町地区コミュニティ活性化実行委員会、白神の映画をつくる会)の熱心なPRと宣伝と努力、そして白神山地区の関心の高さがこれほどの集客に結び付いたのである。マスコミ関係者や著名人の姿も多く見られ、坂田明さん(本作品出演、音楽担当)サクセス奏者、伊藤惣一さん(同ナレーション担当)、俳優、映画監督の小栗康平さんやマッセイストの見城美枝子さんなどが鑑賞

東京上映会大成功！！

= 胸を打つふるさとの映像 =

22日(日)、東京近辺在住の友人数名と兄を誘い昼の部を鑑賞した。2階席までほぼ満席。記録映画製作を支援する会のメンバーだった奈々子さんと再会し、ここが東京だといつことを一瞬忘れそうになった。会場ロビーでは夕のポスターや白神こたま酵母パンが販売され賑わっていた。山下プロデューサーと秋山東京八森会副会長の挨拶の後、いよいよ上映開始。哀調を帯びた音楽をバックに、季節外八夕漁の光景が抑制の効いたナレーションと共に映し出された。子供達の授業の場面では生徒徒になったかのよつに小さく頷きながら説明に聞き入る観客。ある女子児童のよつとして「ミジンコにはまったのですか。」という無邪気な質問や、祭り装束に身を包んだ若者の一気飲み、思いがけない健脚振りを披露するセキさん等巧まざる子モアに充ちた場面で笑いが起こる。トシさんの方言も通



千代田区公会堂前
上映会に向かう人、人、人

「上映会の実現」という経験

小池 征人

秋田県能代市での上映会のことです。映画の中で自分の屋敷から縄文土器が出てきた話をしてくれた佐藤トシさんが花束を抱えて会場に待っていました。驚きと嬉しさで、舞台上が上がってもらい、思わずその小さな体を抱きしめてしまいました。そうやって、私は映画ができた後も支えられて生きていることを実感しています。

東京特別上映会では、わずか一行に書き込まれた文章がありました。「この映画で再生の力をもらった」というアンケートです。会社経営者と明記されていました。映画の不思議な力を感じました。

ある年配者は仲間達が元気がないのでこの映画を見てもらいたいといって、前売り券40枚、即金で払ってくれました。こんな時、人は見捨てたものではないという思いに駆られます。

ですから、記録映画は作品が完成して半分です。上映会を実現させる過程で、人と人が繋がっていく経験があるからです。自分達で観客を求め、地域でそれぞれの人達が抱えている問題と映画が出会うことで辛うじて上映会が成立します。その繋がりが小さな社会を作り出していく力だと思っております。

【こいけ まさと=映画監督】

と環境のセミナー
おすすめ映画上
映会「カタワウサ
ス本社地下1階
☆ミニホー
午後1時、上
映後監督トーク
あり 入場券一
般1500円 小
中高生500円
(申し込みが必
要) 問い合わせ
☎0120(54
5)450 平日午
前10時30分、
午後5時受付)

じているのかいないのか、場内大爆笑。また、斉藤進さんの鶏の解体や貞さんの蒼刈り、保君(実は同期生)の出漁等の場面では一様に感心しながら見入っていたようだ。こちらまで嬉しくまた誇らしくなってくる。こつとして観客の間に一体感が生まれていく。途中休憩を交え、長いよつであつた間だった200分の旅は終わった。観客の反応は八森や能代とさほど変わらなかったが、唯一違つとすればそれは、望郷の念と憧れや期待感が渾然一体となつて醸し出す熱気だったのかも知れない。

上映後、小池監督は観客に向かつて次のような話をした。数年前、経営の苦境に陥つた中小企業の社長3人が、それぞれに保険金を掛け合つて自殺した、同世代として非常にショックだった。と。最も自殺の多いこの世代にこそこの映画を観てもらい、少しでも元気で勇気を出して生きていつて欲しいと力強く訴えた。



800席を埋め尽くす観客

この映画のメッセージはきつと誰かがゆつくりと歩いている。

人々の心の奥深くに届いたに違いない。

(報告=奈良)

チケット売上データ

東京八森会	300枚
能代高校同窓会	200枚
県人会連合会	150枚
千代田区	100枚
一般	250枚

上映スケジュール

5月22日(土)埼玉県小川町ア
ーステイ小川町第15回記念上
映会「リリックおがわ町民会館」ホ
ール午後2時、上映後監督ト
ークあり 入場券1500円 問
い合わせ☎0493(73)1478 事
務局 藤村さん

6月5日(土)東京都新宿「暮らし

身上書 ~其の1~

奈良沙冬子(なら さとこ)

生まれも育ちも町内中浜。高校卒業と同時に大阪へ。12年前に帰郷し家業の旅館を手伝い現在に至る。 趣味=バンド(キーボード) 性格=浪花節的 特技=一聴即演(造語)、親戚の物真似(母のみぞ知る)、車庫入れ(前進より巧い。んっ?) 好きな役者=高倉健、アル・パチーノ 夢=アイルランドでパブ巡り、音楽三昧の日々を送る。

♪ある日ある町のライブで。普段はギターばかり目立つバンドで控えめにしているが、この日だけはキーボード主体の楽曲のアドリブをジョン・ロード張りにギンギンに弾きまくった。他のメンバーは啞然とするし、リーダーは「ついに狂ったか」と怖気づくし…。どうだ、参ったか!!

編集後記

眼精疲労と超低速回転脳ミソに悩まされながらも何とか創刊号を完成させた。会の設立だの会報作りだのイベントだの、こつこつものはあれこれ想像してイメージを膨らませている時が一番楽しい。着手した途端「ああ、やらなきゃよかった」といつても後悔するくせに、喉元過ぎればきらいさはり忘れてまた何かやらかしている。鶏並みである。

次号からは負けず劣らず懲りない面々が登場しますのでどうぞお楽しみに! 先ずは不肖発起人、自己紹介致します。



貞さん人気は全国区

「白神の夢」の映画を「白神」で「連絡先」☎03(6965)2627 FAX03(695)4(6)96 http://www2.tb.at.com.ne.jp/srkmi/shirakami.ooyo.org

編集amの意見、「感想を下記連絡先まで」お寄せ下さい。投稿も受け付けます。400字程度でお願い致します。掲載前にご連絡致しますのでお名前、電話番号を明記して下さい。面白い情報がありましたらお知らせ下さい。取材に伺います。本紙発行費は会員の会費で賄われております。ご寄付は勿論大歓迎であります。が、寄付者様には何のメリットもございません。但し本紙に御芳名を掲載し、敬意と謝意を表させて頂きま

『白神の夢』と文化を育む会
連絡先 ☎018-2641 秋田県山本郡八森町字中浜 51-3
(FAX兼) 0185-77-2221
奈良沙冬子 ☎satoko-n@shirakami.or.jp